

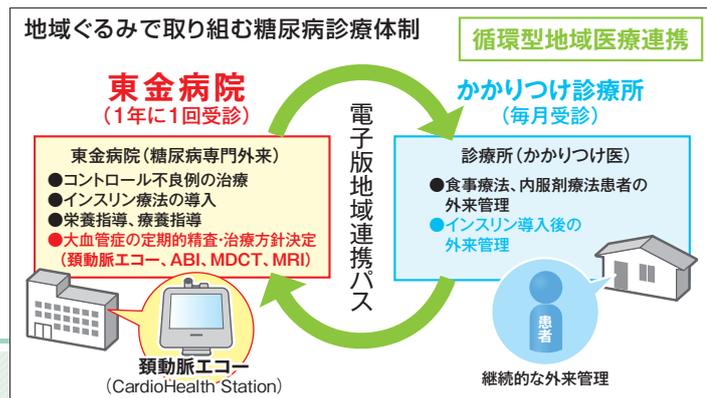
CardioHealth Station

千葉県立東金病院様 (千葉県東金市)

糖尿病から心血管疾患への移行を防ぐための
ゲートキーパーとして重要な役割を担っています。

病院長 平井 愛山 先生

千葉県立東金病院は、地元の診療所とネットワークを持つ基幹病院として、地域ぐるみで良質な医療を提供しています。中でも、糖尿病患者の心血管疾患への移行を防ぐために、頸動脈エコーにより、Max IMT^{*1} 1.5 mm以上の患者を見つけるスクリーニングを実施。2011年12月より「CardioHealth Station」を導入し、無症状の冠動脈異常を見つけ出すサロゲートマーカーとして、内科レジデントが容易に自動測定できる体制を整えました。スクリーニングで抽出された患者に冠動脈CT検査を行うと、その半数以上の患者に疾患が見つかるという高い精度により、インターベンションなど適切な治療を行うことで、合併症の進行を激減させることに成功しています。このワークフローの中で、ハイリスクの患者を層別化していくための出発点として、「CardioHealth Station」はきわめて重要な役割を担っているとおっしゃる病院長の平井先生。まさに糖尿病による冠動脈疾患を予防する「ゲートキーパー」として役立っています。



千葉県立東金病院

東金市

千葉県

超音波診断装置
導入事例

Vol.03

千葉県立東金病院 千葉県東金市台方1229



病院とかかりつけ診療所を広域電子カルテでつなぐ“わかしお医療ネットワーク”を2001年から構築。同一プラットフォームで患者情報を共有することにより、患者さんは普段診療所で、年1回病院で診察を受けるという地域医療連携の先進モデルをつくり上げ、数々の成果を上げています。

- 開業:1953年8月
- 院長:平井 愛山先生 (1998年病院長着任)
- 診療科目:内科、小児科、泌尿器科、整形外科、膝痛・リウマチ外来
- 常勤医:内科8名、小児科2名
- ホームページ:<http://www.pref-hosp.togane.chiba.jp/>



CardioHealth Station

超音波診断装置 GM-72P00A
医療機器認証番号 223ABBZX00097000
特定保守管理医療機器

導入の決め手

特別なスキルなしでも、レジデントが頸動脈のMax IMTを測定できる点がいちばんのポイントでした。

東金病院では、増え続ける糖尿病患者の冠動脈疾患を未然に防ぐために、サロゲートマーカーとして頸動脈エコーを利用。Max IMT 1.5 mm以上を異常値とし、すべての糖尿病患者を漏らさずスクリーニングできるよう、短時間で正確な測定を実現することを目標にしています。「ただ、Max IMTを測るには、超音波検査士の“ゴッドハンド”スキルが必要であり、熟練した技師の養成には長い時間がかかります。そこで、優れたセンサー技術により、操作卓による煩雑な操作を必要とせず、自動で頸動脈エコー検査を可能にする『CardioHealth Station』に白羽の矢を立てたの

です」とおっしゃる平井先生。内科レジデントが、Max IMTに異常値のある患者をいち早く抽出し、詳細な解析を超音波検査士が行うという役割分担を行い、必要に応じて医師とコメディカルが集中して治療に当たるというワークフローをつくり上げています。その入口にあるゲートキーパーとして「CardioHealth Station」は大変重要だと平井先生は語ってくださいました。



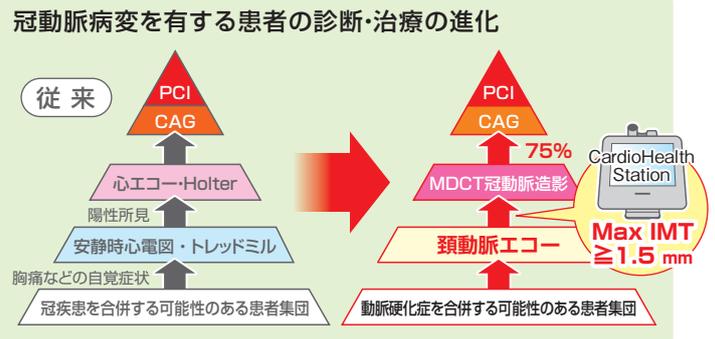
病室で「CardioHealth Station」を操作する平井先生。

導入のメリット

診療所と緊密な医療連携ネットワークをつくり、患者を重症化させないワークフローを構築。

糖尿病患者は全員頸動脈エコー検査で最大肥厚度を測る必要があります。それをやらなければ冠動脈病変を見つけるチャンスを失うと平井先生は断言します。「糖尿病患者が心筋梗塞になってから救急搬送される時代は終わりにしたい。心筋梗塞に移行するリスクの高い患者を早く見つけ出し、予防する体制をつくらなくてはなりません」。例えば、佐賀県では平井先生の尽力により、約6割の診療所で頸動脈エコー検査ができ、Max IMT 1.5 mm以上の患者を9カ所の病院で精査することで、心筋梗塞を予防する体制を整えることができました。東金病院でも、糖尿病の全患者を“疾病管理マップ”にデータベース化して、安定している患者は診療所で診て、病院では毎年定期的にMax IMTをチェックする仕組みをつくりました。また、重症化を防ぐために、院内の各部門を横断する「疾病管理判定会議」という多職種協働の組織をつくり、看護師、検査技師、栄養士、薬剤師などのコメディカルが主体となって、患者のために何ができるかを自ら考えて実践することで医師の負担を減らしています。「例えば、栄養士が待合室で診察待ちの

患者さんに栄養指導を行うなど、患者の生活習慣改善に大きく貢献しています」。こうした成果につながるワークフローの出発点が「CardioHealth Station」であり、「他では代替できないところが最大のポイント」と、平井先生はインタビューを締めくくってくださいました。



取材日:2013年3月

※1: IMTとは、Intima Media Thicknessの略で、動脈の内中膜複合体厚を意味する。IMTの肥厚は、心筋梗塞や脳卒中の発症・再発率と相関を示すことから近年心血管イベントの予測因子として高く評価されている。
 ※略字の解説: ABI(Ankle Brachial Index), MDCT(Multi Detector Computed Tomography), MRI(Magnetic Resonance Imaging system), EHR(Electronic Health Record), PCI(Percutaneous Coronary Intervention), CAG(Coronary Angiography)

商品情報を載せたホームページです。ぜひご覧ください。

<http://panasonic.biz/healthcare/chs>



パナソニックグループは環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます

- 省エネを徹底的に追求した製品をお客様にお届けし、商品使用時のCO₂排出量削減を目指します。
- 新しい資源の使用量を減らし、使用済みの製品などから回収した再生資源を使用した商品を作り、資源循環を推進します。

詳しくはホームページで
<http://panasonic.co.jp/eco>

お問い合わせ先

パナソニックヘルスケア株式会社
 お客様ご相談センター

フリーダイヤル



0120-878-211

365日
 受付9時～20時

ご相談窓口における
 個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社(以下「当社」)は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提示いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

お問い合わせは…

パナソニックヘルスケア株式会社
 マーケティング本部

〒105-8433
 東京都港区西新橋2丁目38番5号西新橋MFビル

このカタログの記載内容は
 2013年3月現在のものです。

GM-JJIE04GG1